

かもまる通信



第43号

令和2年10月発行

発行：いわき総合図書館

〒970-8026

平字田町 120

TEL22-5552

【図書館歳時記】 「大切な人へ心をこめて」

秋の夜長に、あなたの大切な家族や友達へ手紙を書いてみませんか？

総合図書館4階南側の「8B ことば」の書架には、手紙の書き方や文例などの図書がありますので、ご利用ください。

肌寒くなるこの時期に届く、心のこもった手紙は、きっと、大切な人の心を温めてくれることでしょう。



おすすめの本の紹介

『サーカスが燃えた』【橙-E-ナ】
(児童書・絵本) 佐々木譲 文 中島梨絵 絵
角川春樹事務所

主人公は、毎年夏にやってくるサーカスが大好きな女の子。しかし楽しい時間は、突然、火事によって奪われてしまいました。大好きだったサーカスが燃え尽きるのをずっと見つめていた女の子に、ある変化が訪れます。

警察や歴史を舞台とした小説などで活躍中の直木賞作家の佐々木さんが手掛ける初めての絵本です。

リズムカルな文章と水彩の柔らかなイラストが、夢から覚めてしまったような喪失感を引き立てています。子どもはもちろん、かつて子どもだった大人の方にも読んでいただきたい絵本です。

『戦国大名と読書』【210.4-才】
(一般書・歴史) 小和田哲男 著 柏書房

大河ドラマ「麒麟がくる」の時代考証を担当している著者が、大河ドラマにも出てくるような、明智光秀や徳川家康などの有名な戦国大名は、どのような書物を読み、影響を受けていたのかを探っています。

戦国大名の愛読書というと、合戦の参考になる兵法書や軍記というイメージがありますが、その読書遍歴をみていくと、少し意外なものも含まれていて、驚かされます。

読書から得られる幅広い知識が、戦国時代という激動の時代を生き残っていくための、力の一つになっていたことが伝わってくる一冊です。

『旅をする木』【SS-295.3-ホ】
(一般書・紀行文) 星野道夫 著 文芸春秋

著者の星野さんは、アラスカに移住し、動物や風景の写真を撮り続けた写真家で、この本は、自分とアラスカとを結ぶ強い絆を歌い上げた旅のエッセイ集です。アラスカに関わる、さまざまな世代のひとたちがこの本には登場しています。

我が身の人生をどう描くか。あるいは、どう人生を締め括りたいか。そんな迷った時に道をそっと照らしてくれる、北極星のような言葉が、随所に散りばめられています。読むと、道がずっと見えてくるかもしれません。

自分の人生を見つめたい時、心が疲れている時に写真集と合わせて読んでいただきたい一冊です。

『村上 T』【914.6-ムラ】
(一般書・エッセイ) 村上春樹 著
マガジンハウス

作家・村上春樹さんの“つい集まってしまうもの”のひとつに、Tシャツがあります。そうです。書名の「T」は、Tシャツのこと。

本書では、段ボールで積み上げられる程の膨大なコレクションのなかから、特にお気に入りのTシャツを紹介し、それにまつわるエピソードが添えられています。

短編小説「トニー滝谷」(『レキシントンの幽霊』所収)も、そんなTシャツコレクションから生まれた物語で、映画化もされています。

村上さんの、Tシャツ愛が詰まった一冊です。

貸出 TOP5

(令和2年8月末現在)

順位	書名	著者名	出版社
1	きえた!?かいけつゾロリ	原 ゆ た か	ポプラ社
2	素敵な日本人	東 野 圭 吾	光文社
3	かいけつゾロリのちてい たんけん	原 ゆ た か	ポプラ社
4	魔力の胎動	東 野 圭 吾	KADOKAWA
5	流浪の月	凧 良 ゆ う	東京創元社

予約 TOP5

(令和2年9月27日現在)

順位	書名	著者名	出版社
1	クスノキの番人	東 野 圭 吾	実業之日本社
2	流浪の月	凧 良 ゆ う	東京創元社
3	ライオンのおやつ	小 川 糸	ポプラ社
4	カケラ	湊 か な え	集英社
5	きたきた捕物帖	宮 部 み ゆ き	PHP 研究所

「おはなし会」を開催しました

9月から「おはなし会」を再開しました。

9月12日に開催した総合図書館では、12組の親子28名が絵本や紙芝居の読み聞かせに参加しました。

当日は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、マスクの着用、検温や手指の消毒、「おはなし会参加者カード」への記入などとともに、今回から会場をこれまでの「おはなしのへや」からより広い、「よみきかせひろば」へ変更して行いました。

「おはなし会」は、総合図書館だけではなく、全ての市立図書館（小名浜・勿来・常磐・内郷・四倉）でも再開していますので、会場や日時などをご確認のうえ、ご参加ください。



【総合図書館の様子】

第74回 読書週間（10月27日から11月9日）が始まります！

「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもとに、1947年（昭和22年）に第1回「読書週間」が開催されてから73年、今年の読書週間の標語は、「ラストページまで駆け抜けて」です。この機会に、読みたかった本、気になっていた本をラストページまで読んでみませんか？

総合図書館でも、読書週間にあわせて様々な図書館事業を開催しますのでご来館ください。

参加無料



第1回 図書館くらしのセミナー

「弁護士に聞いてみよう!! コロナの影響による問題を考える」

新型コロナウイルスの影響により、家庭内虐待が増えていることや、格差が広がっていること、いじめ問題など子どもの人権が害されていることに対して、みんなで考えるヒントを得る機会とするための、セミナーを開催します。

- ★日 時 10月30日（金）14:00~15:30
- ★会 場 いわき総合図書館 学習室（ラトプ4階）
- ★講 師 いわき法律事務所 弁護士 菅波 香織 氏
- ★定 員 大人30名（先着順）高校生以上
- ★申込方法 参加申込書を各図書館のカウンターに提出してください。

いわき総合図書館のみ電話でも受け付けます。FAXでの受け付けは行いません。

講師プロフィール

いわき市平生まれ。離婚や子ども、DV事件や性被害に関することが専門。

- ・福島県浜児童相談所虐待対応専門員
- ・いわき市いじめ問題対策委員会委員

